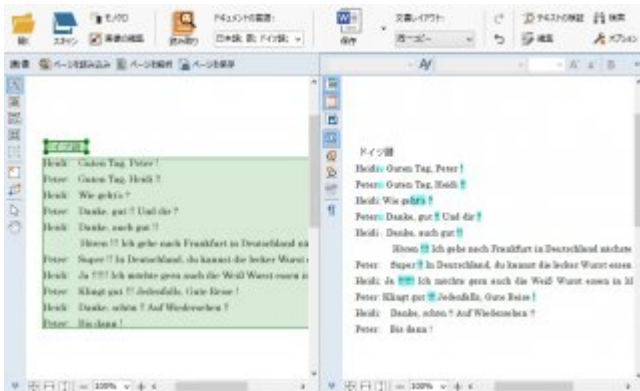


ドイツ語やタイ語の読み取りも可能な、多言語対応 OCR ソフトウェアに 3 ユーザーライセンス版のコンカレントライセンスが登場！



【商品名】

ABBYY FineReader 12 (アビー ファインリーダー)

【概要】

OCR ソフト「FineReader 12」は、スキャンした文書や PDF や画像を、Word や Excel、電子書籍ファイルなどに自動で変換できる。
コーポレートエディションでは、指定した時刻に自動的に連続処理を行うことも可能。

【内容】

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」は、スキャンした文書や PDF、画像などを高い精度で読み取り、検索／編集可能なフォーマットに変換できる 総合 OCR ソフトウェア
変換可能な形式には、Microsoft Word、Excel、OpenDocument テキストや、検索可能な PDF、EPUB が含まれる。

「ABBYY FineReader 12」は 190 言語に対応しており、複数の言語が混在するような文書であっても、高精度な認識・変換機能により、再入力や再フォーマットがほとんど不要。
OCR
ソフトウェアとしては最高峰の精度で、正確に文書を読み取り、素早く結果を表示させることが可能。

英字文章に大変強く、海外の論文を簡単にデータ化できるため、多くの研究者や開発者にも愛用されている。

論文や取扱説明書を EPUB

形式へ変換することで、電子書籍としてタブレットなどでの持ち運びが可能。

参考文献などを引用する際に、OCR ソフト「ABBYY FineReader 12」

があれば、全てを手入力する必要がない。

また、操作画面は日本語以外に、英語やロシア語はもちろん、中国語、韓国語など複数の国の言語が選択できる。

コーポレートエディションでは、スケジュール機能（HotFolder）や、バッチ処理機能（タスク）が搭載されており、指定した時刻に、定型書式の見積書や請求書などを PDF や Excel などへ自動で変換できる。さらに 4 コア対応版なら、Intel Core i5 などの クアッドコア CPU に対応。大量のファイルの一括変換などに要する時間も大幅に短縮でき、作業効率の向上を図れる。

=====

■無料使用版は下記 URL からダウンロードが可能。

=====

<無料試用版>

<http://finereader.add-soft.jp/download/>

=====

■ABBYY FineReader 12 対応言語

=====

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」

は、日本語、中国語、韓国語、英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ロシア語などの、主要言語はもちろんの事、アラビア語、ラテン語、キリル語、タイ語、ヘブライ語を含む 190 言語に 99% 正確に対応しています。（※ アラビア語に標準対応）

また OCR

で読み取った文書の、テキストフロー、表、画像、箇条書き、番号、列、その他のオリジナルレイアウトとフォーマットを維持。

<対応言語リスト>

http://finereader.add-soft.jp/support/?page_id=2198

=====

■Microsoft Office・PDF フォーマットに対応

=====

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」

は、多くのビジネスシーンで利用されている、Microsoft Office フォーマット DOCX、XLSX、PPTX に対応し、PDF や PDF/A にも対応している。

=====

■電子書籍ファイル EPUB フォーマットに対応

=====

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」 は、EPUB 3.0 規格に準拠した ePub ファイルへの変換が可能になり、電子書籍リーダー「Readium」や「Adobe Digital Editions」などで閲覧できるファイル形式で出力できるようになった。

Windows 8.1 タブレットなどで、FineReader 12 で OCR

処理をした文書ファイルを、電子書籍ファイルに変換して持ち運ぶことができる。

<対応形式リスト>

http://finereader.add-soft.jp/support/?page_id=2195

=====

■Windows 8 / 8.1 への完全対応

=====

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」では、Windows 8 / 8.1
タブレットのスタート画面から利用できるように、[クイックタスク]メニューを採用。
[クイックタスク]をスタート画面にピン留めすることで、FineReader
のメインウィンドウを起動しなくても、ワンクリックで Microsoft Word や Excel、 PDF
などのよく使われるファイル形式に文書を変換できるようになった。

=====

■快適なユーザーインターフェイス

=====

●バックグラウンド処理の効率化

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」

では、時間がかかる処理がバックグラウンドで処理されるため、ユーザーは文書のすでに認識された部分での作業を継続できる。

OCR

プロセスが完了するまで待たなくても、画像エリアの調整、認識されないページの表示、特定のページまたは画像エリアからの OCR

の強制的な開始、他のソースからのページの追加、文書内のページの並べ替えを行うことが可能。

●画像読み込みの高速化

ページ画像は紙の原稿がスキャンされ次第プログラムに取り込まれるため、スキャン結果を直ちに確認し、認識するページや画像エリアを選択することができる。

●より簡単になった引用

画像エリア内のテキストや画像や表が、マウスをクリックするだけで簡単に認識、クリップボードにコピーできる

=====

■画像の予備処理とカメラ OCR

=====

撮影されたテキストを高い精度で認識し、スキャンした時と同等品質のテキスト写真を作成できる。

写真修正機能には、「自動切り取り」「幾何学的歪みの修正」「明るさと背景色の均一化」が含まれている。

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」

では、新たに追加した画像に適用する予備処理オプションを選択できるため、各画像を個別に補正する必要がない。

スマートフォンで撮影した文書の画像も、スキャナーで取り込んだように正確に読み取ることが可能。

=====

■アーカイブ格納された文書を高品質で表示

=====

「ABBYY PreciseScan

テクノロジー」という技術を使用して、文字の輪郭を滑らかにしてスキャンされた文書の表示品質を高めた。

=====

■ヘルプ画面を一新

=====

OCR ソフトウェア「ABBYY FineReader 12」のメニューからヘルプを参照すると、ABBYY
オンラインヘルプに接続され、分かりやすい日本語のオンラインヘルプが確認できる。

基本操作内容だけではなく、OCR

品質を高めるためのヒントも掲載されているため、分からないことをすぐに調べることができる

。

販売元：株式会社エーディーディー

WEB：<http://finereader.add-soft.jp/>

お問い合わせ先：Sales-Support@add-soft.jp

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>